

News Release

2015年（平成27年）6月16日

明星電気株式会社

伊勢崎市で発生した突風現象の POTEKA 観測結果（速報）

2015年6月15日夕方、群馬県前橋市～伊勢崎市にかけて強い突風が発生し、建物の一部が飛ばされるなどの被害が多数報道されました。被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

研究・教育目的として観測実証中の超高密度気象観測システム POTEKA は、被害地域周辺の気象をとらえました。POTEKA は小型気象計を約 2km 間隔に配置しているため、局所的な気象現象をきめ細かく観測できるという特長があります。本プレスリリースでは、観測結果の一部を速報としてお知らせします。

図1は、突風発生時間帯の地表における気温の観測値です。雨雲レーダーのエコー強度が強い領域の真下だけ気温が局所的に 20℃以下に低下しており、2.8km 離れた隣の観測点と 10.9℃の気温差を生じていました。このような気温差の激しい場所では局所的な前線が生じるので突風が発生しやすくなります。

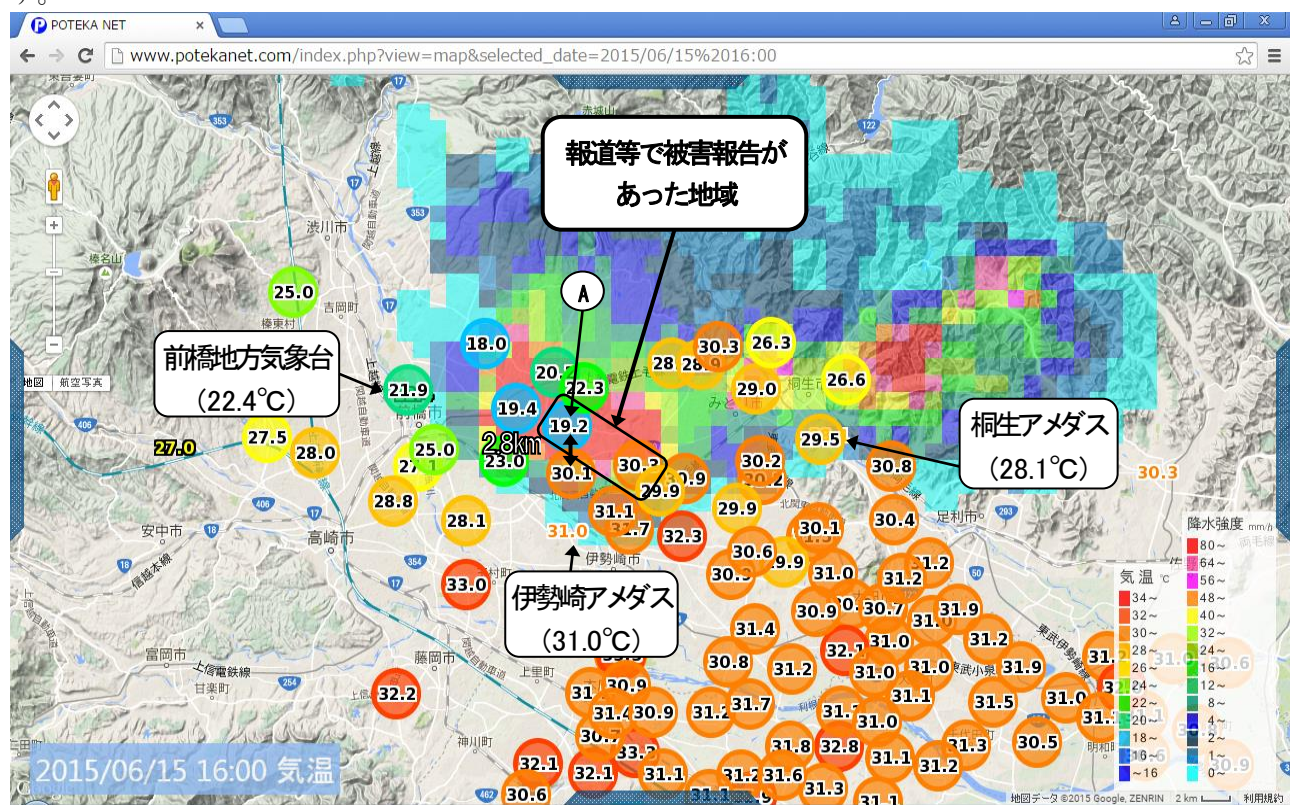


図1 POTEKA が観測した気温の空間分布 と 雨雲レーダー (注)

図2は、図1のA地点の気象の時間変化です。平均風速が最大になったのは16:05で、その11分前から9分の間に約11.3℃という気温の急低下を観測しました。また気温低下と合わせて湿度の急上昇および日射量の減少、感雨も観測しました。これらは突風の予兆として知られているものです。さらに、気圧も急な変動も観測しました。気圧の変動を細かく解析することは、突風のメカニズムの解明に役立ちます。



図2 POTTEKA が観測した A 地点の気象の時間変化 (注)

明星電気では、2015 年度も引き続き、突風・竜巻・ゲリラ豪雨などの局所気象現象の観測を行い、高密度気象情報の利活用の普及につなげていきます。

以上

問い合わせ先：明星電気(株) 経営企画室広報担当

(TEL:0270-32-0953)

(注) 本プレスリリースで用いた気象計は、気象庁検定を未取得であり、研究・教育目的のためだけに使用しています。